

みんなの

# ちいき

# ふくし

社協だより

vol.51

9  
2017

CHI-KI FUKUSHI SOJA CITY COUNCIL OF SOCIAL WELFARE

## CONTENTS

事業報告 / 決算	2
地域ニュース from 地区社協	4
ひきこもり支援	6
生活困窮支援センター	7
権利擁護センター“しえん”	8
障がい者千人雇用センター / 在宅福祉	9
ひきこもり支援	12



## 地域の支え合い 実践中!!!

ジュニアボランティア体験講座第2回にて

地域の民生委員の見守り活動を体験



社会福祉法人 総社市社会福祉協議会

「すべての住民が、自分の住み慣れた地域で、自分らしく、生き生きと、豊かに暮らせるふれあい、助け合い、支え合いのある住民主体の福祉コミュニティの実現」

平成28年度 事業活動計算書

(単位：円)

勘定科目	決算
【サービス活動増減の部】	
会費収益	14,585,200
寄付金収益	4,633,262
経常経費補助金収益	78,851,814
受託金収益	107,828,404
事業収益	2,951,459
負担金収益	2,606,745
介護保険事業収益	73,174,126
障害福祉サービス等事業収入	40,219,161
その他の収入	4,660,530
サービス活動収益計(1)	329,510,701
人件費	235,393,552
事業費	25,790,084
事務費	15,271,719
助成金費用	26,916,924
基金組入額	110,100,000
減価償却費	8,655,336
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 5,490,000
サービス活動費用計(2)	416,637,615
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 87,126,914

勘定科目		決算
【サービス活動外増減の部】		
収益	受取利息配当金収益	164,343
	雑収益	722,434
	サービス活動外収益計(4)	936,777
費用	サービス活動外費用計(5)	0
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	936,777
経常増減差額(7)=(3)+(6)		△ 86,190,137
【特別増減の部】		
収益	拠点区分間繰入金収益	101,188,138
	サービス区分間繰入金収益	430,848
	サービス区分間固定資産移管収益	4
特別収益計(8)		101,618,990
費用	固定資産売却損・処分損	2
	拠点区分間繰入金費用	101,188,138
	サービス区分間繰入金費用	430,848
	サービス区分間固定資産移管費用	4
	その他の特別損失	0
特別費用計(9)		101,618,992
特別増減差額(10)=(8)-(9)		△ 2
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△ 86,190,139
【繰り越し活動増減差額の部】		
前期繰越活動増減差額(12)		101,313,341
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		15,123,202
基本金取崩額(14)		0
基金取崩額(15)		0
その他の積立金取崩額(16)		110,000,000
その他の積立金積立額(17)		0
次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)		125,123,202

平成28年度 貸借対照表

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	158,561,861	流動負債	45,304,373
現金預金	80,506,492	事業未払金	43,171,329
事業未収金	71,058,369	預り金	17,238
未収補助金	6,970,000	職員預り金	2,115,806
仮払金	27,000	固定負債	101,912,040
固定資産	694,008,617	退職給付引当金	101,912,040
基本財産	138,247,580	負債の部合計	147,216,413
建物	135,247,580	純資産の部	
定期預金	3,000,000	基本金	3,000,000
その他の固定資産	555,761,037	基金	372,405,548
車両運搬具	233,856	福祉基金	280,430,000
器具及び備品	8,871,278	報奨基金	2,572,548
緊急援護資金貸付金	2,323,000	地域福祉活動基金	89,403,000
退職手当積立基金預け金	101,912,040	国庫補助金等特別積立金	134,810,000
福祉基金積立資産	280,430,000	国庫補助金等特別積立金	134,810,000
報奨基金積立資産	2,572,548	その他の積立金	70,015,315
地域福祉活動基金積立資産	89,403,000	運用資金積立金	30,015,315
運用資金積立資産	30,015,315	備品等購入資金積立金	40,000,000
備品等購入資金積立資産	40,000,000	次期繰越活動増減差額	125,123,202
		次期繰越活動増減差額	125,123,202
		(うち当期活動増減差額)	△ 86,190,139
		純資産の部合計	705,354,065
資産の部合計	852,570,478	負債及び純資産の部合計	852,570,478

ご協力ありがとうございました。

日本赤十字社

JAPANESE RED CROSS SOCIETY

日本赤十字事業におきましては、日頃からのご理解とご協力をありがとうございます。

皆様から寄せられた会費は、国際援助だけでなく地域においても災害救護活動を行ったり、救急法、家庭看護法、幼児安全法などの講習会や講演会の開催時に有効に活用させていただいてます。

今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。



## ～平成28年度 主な事業実績～

### 1. 法人運営事業

- (1) 社会福祉協議会基盤強化に関する調査、研究
  - ① 第23回岡山県保健福祉学会で研究発表（1月23日）
    - ・総社市における「ひきこもり支援」の取り組みについて
    - ・総社市における市民後見人の養成から活動支援における一考察
  - ② 障がい者虐待実態調査（使用者）の実施
  - ③ ひきこもり実態調査の実施
- (2) 広報紙の発行、ホームページの作成と更新
  - ① 「みんなのちいきふくし」の発行・年4回（1回あたり25,700部）発行
- (3) 社会福祉協議会会員加入促進と強化
 

会費総額 14,585,200円 加入率 59.7%

### 2. 地域福祉活動事業

- (1) 住民主体の地区社協活動・小地区社協活動の推進
  - ① 地区社協会長会議の開催 年4回開催
  - ② 「赤い羽根 福祉でまちづくり助成事業」の実施
  - ③ 小地域ケア会議との連携
  - ④ 職員が地区担当制による推進
- (2) 民生委員児童委員活動との連携
- (3) 福祉委員活動の推進
  - ① 全町内会・自治会等に福祉委員の配置を推進 579人（45世帯に1人の配置）
  - ② 地区福祉委員会、市福祉委員協議会の活動支援
  - ③ 研修会（民生委員合同・初任者等）の実施
    - ・「福祉のささえあいフォーラムin総社2016」開催（9月3日）
  - ④ 「福祉委員だより“ささえあい”」の発行
- (4) ふれあいサロン事業の推進
  - ① ふれあいサロンの立ち上げ、運営支援
  - ② ふれあいサロン研修会、交流会の開催
  - ③ ふれあいサロン活動助成金の交付
    - ・申請 215か所 ・助成 210か所（総額 4,660,000円）
- (5) ボランティアセンター事業の実施
  - ① ボランティア(グループ、個人)活動の支援 登録(83グループ、個人4人)
  - ② ボランティア活動のコーディネート ・61件実施
  - ③ ボランティアの養成及び活動の推進・支援
  - ④ 「夏のボランティア体験事業」の実施
    - ・市内の中学生・高校生194人参加 ・20事業所で活動
    - ・事前、事後研修会の実施
  - ⑤ ジュニアボランティア養成講座の開催
  - ⑥ 団塊世代など向けの災害ボランティア養成講座の開催
  - ⑦ ボランティア連絡協議会の支援
    - ・15団体、233人 ・総会・交流会・視察研修・役員会の実施
- (6) 災害ボランティア養成・体制整備事業
  - ① 災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの整備
  - ② 災害ボランティアフォローアップ講座の開催（9月17日）
  - ③ 災害支援ネットワーク会議
  - ④ 災害ボランティアセンター設置・運営演習（11月12日）
  - ⑤ 総社市防災訓練への参加（11月20日）
- (7) 福祉教育の推進
  - ① 社会福祉学習支援事業の実施
    - ・実施件数：小学校7件、中学校1件
  - ② 県立高校社会貢献活動との連携 南高：延411人 総高：延59人
- (8) 生活福祉資金等の貸付
  - ① 生活福祉資金の貸付 相談件数13件（内貸付実施件数0件）
- (9) 日常生活自立支援事業の実施
  - ① 日常生活自立支援事業の実施 利用者：12人
  - ② 生活支援員による援助の実施 支援員：6人
- (10) 法人後見事業の実施
  - ① 法人後見事業の実施 受任件数8件（後見3件、保佐4件、補助1件）
  - ② 後見支援員による後見業務、研修事業の実施
    - 支援員12人（市民後見人登録者）内7人が支援を実施
    - 市民後見人定例研修へ参加（隔月）
- (11) 生活支援サービスの検討
  - ① 生活支援サポーター養成講座の開催
  - ② 生活支援サポーター連絡会の開催
  - ③ 生活支援「にこにこサポート事業」の検討
  - ④ 生活支援サービス検討委員会の開催（第1層協議体）
  - ⑤ 圏域地域包括ケア会議の開催（第2層協議体）
- (12) 「ひきこもり」等支援事業の実施
  - ① ひきこもり支援等検討委員会の設置
  - ② 委員会の開催（全4回）
  - ③ 課題別ワーキンググループの運営
  - ④ ひきこもりサポーター養成講座
  - ⑤ 「ひきこもり」の実態把握及び支援方法の検討
  - ⑥ ひきこもりからつながる地域づくりフォーラム（2月4日）
- (13) 社会福祉法人との連携事業

### 3. 子育て支援事業

- (1) 子育て支援団体への支援
- (2) 子育てサロン事業の支援
- (3) 地域密着型子どもまつりの開催支援（地区社協子育て支援事業助成）

### 4. 高齢者福祉事業

- (1) 配食サービス事業の実施
  - ① 生活支援型給食サービスの実施
  - ② 地区給食サービスの実施（地区社協主催で実施）
- (2) 敬老会の開催（地区社協主催で開催）
- (3) 高齢者等団体（老人クラブ、ひとり暮らし高齢者の会、介護者の会）支援
- (4) そうじゃ60歳からの人生設計所（生涯現役促進事業）の設置運営

### 5. 障がい者福祉事業

- (1) 障がい者基幹相談支援センターの設置運営
  - ① 相談支援の実施（電話、来所、訪問、その他）
  - ② 障がい者地域移行・地域定着支援の実施
- (2) 発達障がい者支援体制整備事業
  - ① 発達障がい者支援ネットワークの構築
  - ② 発達障がい支援者養成講座の開催
- (3) 障がい者千人雇用センターの設置運営
  - ① 障がい者就労支援の推進
- (4) 障がい者地域活動支援センター（I型）「ゆうゆう」の設置運営
  - ① 日中活動支援事業
  - ② 料理教室の開催
- (5) 地域自立支援協議会の運営
  - ① 全体会議・運営会議・実務担当者会議・部会・プロジェクトチームの運営
  - ② 障がい者福祉フォーラム（ハートフルそうじゃ）の開催
- (6) 意思疎通支援事業の実施
  - ① 手話奉仕員養成講座の実施
  - ② 手話奉仕員・通訳者登録派遣事業の実施
  - ③ 要約筆記奉仕員養成講座の実施
  - ④ 要約筆記奉仕員登録派遣事業の実施
  - ⑤ 点訳ボランティアへの支援
- (7) 障がい者（児）団体の支援

### 6. 権利擁護事業の設置運営

- (1) 権利擁護センターの設置運営
  - ① 運営委員会の開催
  - ② 支援検討委員会の開催
  - ③ 虐待防止対策事業の実施
  - ④ 成年後見支援事業の実施
  - ⑤ 入院・入居支援事業の実施
  - ⑥ 犯罪被害者支援事業の実施
  - ⑦ 市民後見人養成事業の実施
  - ⑧ 市民後見人フォローアップ事業の実施
  - ⑨ 法律ミニ講座の開催
  - ⑩ 専門職向け法律相談の実施
  - ⑪ 成年後見制度における市長申立事務補助の実施
  - ⑫ ミニなんでも相談会の開催
  - ⑬ 総社市権利擁護推進フォーラムの開催
- (2) 生活困窮支援センターの設置運営
  - ① 協議会及び常任委員会の開催
  - ② ワーキンググループ（WG）の開催
  - ③ 支援調整会議の開催
  - ④ 自立相談支援事業の実施
  - ⑤ 家計相談支援事業の実施
  - ⑥ 学習等支援事業の実施
  - ⑦ 食糧支援の実施
  - ⑧ 一時生活場所の確保の実施

### 7. 在宅福祉サービス事業

- (1) 介護保険事業（居宅介護支援事業、訪問介護事業）の実施
  - ① 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）
  - ② 訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）
- (2) 障がい福祉サービス事業の実施
  - ① 指定特定相談支援事業の実施
  - ② 指定障がい児相談支援事業の実施
  - ③ 障害支援区分認定調査の実施
  - ④ 居宅介護事業の実施
  - ⑤ 高齢者の自立支援事業（ホームヘルプサービス）の実施
  - ⑥ 車イス貸出し事業の実施

### 8. 福祉センター等管理運営事業

- (1) 総社市総合福祉センターの管理運営
- (2) やすらぎの家、さんあいの家、ひだまりの家、山手ふれあいセンターの指定管理

### 9. 共同募金・歳末たすけあい運動の実施

- (1) 共同募金・歳末たすけあい募金の実施
  - ① 共同募金実績額 9,790,243円
  - ② 歳末たすけあい募金 実績額 253,814円
- (2) 共同募金事業の実施
  - ① 共同募金ポスターコンクールの開催
- (3) 歳末たすけあい事業の実施（寝たきり者への友愛訪問事業）

### 10. 赤十字事業

- (1) 日赤社資増強運動の推進
  - ① 実績額 1,005,950円
- (2) 災害救援事業の実施
  - 災害被災者の救護
  - 災害時のためのハイゼックス等による炊き出し訓練（イベント内含む）
- (3) 赤十字奉仕団活動の推進及び助成
- (4) 赤十字事業普及のための広報活動
  - 救急法・家庭看護法等の講習会の開催

### 11. 災害救援活動、災害救援募金の実施

12. 社会福祉・介護福祉現場実習生の指導
  - 社会福祉援助技術現場実習の受け入れ
  - 見学実習
  - 社会福祉士養成校での講義等

### 13. 視察研修等の受入

14. その他福祉諸問題に関する対策の企画と実施

# 常盤地区社協

## 『常盤地区敬老会』

常盤地区では、今年5月14日(日)、サンワーク総社において、敬老会を開催させていただきました。

人生の大先輩である、高齢の皆様に対し、長寿をお祝いすると共に、長年に渡り地域の発展に寄与された功績に感謝し、後にく者にとつての指針となつていただくためのものです。今年、常盤地区では、80歳以上の方が683名おられ、当日114名にご出席いただきました。

式は、市長をはじめ来賓の皆様のおいさつ、米寿者への記念品贈呈と続き、アトラクションとして、今年は中央部南地域包括支援センターによる健康アドバイス、茶月会の皆様による日本舞踊(若柳流)と民謡をご披露いただきました。ご出席いただきました皆様、また運営に携わっていただきました皆様、本当にありがとうございました。皆様をお迎えしたいと思っております。



# 阿曾地区社協

## 『合同サロン』

A 「今度のサロン何するん？」  
 B 「まだ、決まったらんのじゃ。」  
 C 「うちは『笑いヨガ』の先生をお願いして笑いヨガをすることにとるんよ。」

B 「そうか、そりゃあええなあ。」  
 A 「なあなあ、その笑いヨガ、うちのサロンも一緒にさせてもらえんかなあ？」  
 B 「うわあ、うちも一緒にさせてほしいわあ」という3地区のサロンのリーダーの会話により、合同サロンの実現となりました。

各公会堂では狭いので阿曾分館を会場と決め、福祉委員さんに送迎をお願いしました。

永田ツギ子先生ご指導により、「ホホ、ハハハ」「ハッピーハッピーエッー!!」「ベリグーベリグーエッー!!」と手拍子、握手して笑いました。久しぶりに他地区の人と笑い合い、手をつないで楽しい時間を過ごしました。

阿曾地区では、高齢者が集える機会は、3月3日のひなまつりと5月に敬老会があります。合同サロンを計画する

ことでみなさんが顔をあわせる機会が増えればいいなあと思っております。



# 昭和地区社協

## 『ふれあいサロン交流会』



昭和地区社協「地域活性化化部会」は7月1日(土) 昭和公民館において、第4回サロン対抗「輪投げ大会」を開催しました。25サロンが一堂に会し、参加者も160名を超え、会場に入りきれないほどで大いに盛り上がりました。

サロン対抗「輪投げ大会」を始めてからは、サロンの人気ゲームとなり、「輪」を購入し、自分たちでセットを作製するほどの力の入れようです。サロンの要望を受け、昭和地区社協は5月に『輪投げゲーム』を2セット購入しました。下倉地区に「4セット」あり、合計「6セット」ですが、借り手サロンが多すぎて順番待ちになるほどの盛況です。

当日は、豪華賞品をねらって高齢者も子どもも日ごろの練習の成果を発揮し、高得点のたびに「キャーキャー」にぎやかで楽しいことこの上なでした。

表彰式では1位〜7位まで賞品があり、3位と5位は2チームが同点となり、ジャンケンで順位を決める珍事もおき、白熱したゲーム展開でした。次回開催を期待しててください。



## 地域を元気にするサポーター！ ～福祉委員の活動～

総社市社協では、平成18年から福祉委員の設置・活動に取り組んでいます。改選期を迎えた今年度は、市内14会場(各地区福祉委員会の単位)にて委嘱式を開催し、583名の方を委嘱させていただきました。

福祉委員の主な役割は、①地域のアンテナ役、②福祉活動の協力役、③福祉情報の連絡役、④福祉意識の啓発役です。地域の見守りやふれあいサロンへの参画など、民生委員・児童委員の方や関係機関と協働し、様々な福祉活動にご協力をいただいております。

これからも皆様のお近くにいらっしゃる「福祉委員」の活動に、ご理解とご協力をお願いいたします。



# ひきこもり支援センター開設記念フォーラム を開催しました！

平成29年7月23日（日）に総社市ひきこもり支援センター「ワンタッチ」開設記念フォーラムを開催しました。当日は、地域の方や他市町村、県外の方まで約200名の方にご来場いただき、盛況のうちに終わることが出来ました。

基調講演は、ジャーナリストの池上正樹氏をお迎えし、「『引きこもり』の理由、社会的背景、そして苦悩…～「引きこもり」するオトナたち～」というテーマで、



ご講演いただきました。あらためて当事者の思いや様々な支援の在り方について理解する機会となりました。

その後、ひきこもり支援等検討委員会の西田和弘委員長より「総社市での『ひきこもり支援』の取り組み～実態調査から『ひきこもり支援センター』の開設へ～」との経過報告を経て、「なぜ？いま、ひきこもり支援なのか？」というテーマで、西田和弘氏、池上正樹氏らによる座談会を開催しました。その中で、「全国

の先行事例を参考にしつつ、総社らしい、総社ならではの仕組み作りが必要」、「サービスがニーズを掘り起こすように、独自の多様なメニューを作っていく」、「当事者が自己決定で選択できるメニュー作成」などのご意見をいただきました。

今後も支援が独り歩きしないように、ご本人、ご家族や地域の方々と一緒にひきこもり支援に総社市民一丸となって取り組めるような地域づくりを目指します。

## 居場所カフェ

開設記念フォーラムと同日に、ひきこもりサポーターの皆さんと一緒に、「居場所カフェ」を1日限定でOPENしました。当日は沢山の方にお越しいただきました。来場者の方々からは、「楽しかった」、「話を聞いてもらえてよかった」、「1人で過ごせるスペースがあってよかった」等の感想をいただきました。

今回の感想を参考にして、ひきこもり支援センターでは居場所づくりを行っていきます。

お越しいただいた皆さま、ありがとうございました。



## お気軽にご相談ください！



総社市生活困窮支援センターでは、市内にお住まいで、**生活が不安、経済的に困りな方**を対象に無料で相談を受け付けております。相談の秘密は厳守いたします。

### 自立相談支援

専門のスタッフが困りごと（生活のこと、お金のこと、仕事のこと等）に応じて、自立した生活に向けた支援プランと一緒に作成し、各専門機関と連携しながら、支援します！

お困りごとに対し、自立に向けた目標（支援プラン）と一緒に作成します。  
目標（支援プラン）が達成されれば、支援終了となります。

### 家計相談支援

借金問題の対応（債務整理に向けた専門機関への連絡調整等）、家計の見直し・改善に向けた支援（家計簿の作成、家計に対する助言等）を行います！



**はじめに専門のスタッフが相談内容をお聞きし、内容により、情報提供や専門機関をご紹介します**



<お問い合わせ>

〒719-1131 総社市中央1-1-3 総社市総合福祉センター内  
総社市生活困窮支援センター TEL(0866)92-8374

【受付時間】月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分  
(土・日・祝日・12/29～1/3は除きます。)

## 居住支援講演会を開催しました！

おかやま入居支援センター  
井上 雅雄 氏



6月14日(水)に市内の不動産関係者、相談業務を行う支援者を対象に居住支援講演会を開催しました。当日は、不動産関係者7名を含む30名に参加いただきました。

今回は、権利擁護センターが入居支援を行う中での課題の1つである、民間アパート等に入居をする際に、「保証人等が確保できない方の入居支援」について、法人として保証人や緊急連絡先となり支援を行っている、おかやま入居支援センターの井上氏、高齢者住宅財団の榎原氏の両氏に講義いただきました。

井上氏からは、住宅セーフティネット法の改正点や居住支援協議会の役割も含め、居住支援の現状についての講義の後に、おかやま入居支援センターで取り組んでいる入居支援について事例を交えて、説明いただきました。榎原氏からは、高齢者住宅財団で実施している「家賃債務保証制度」について、利用方法や利用者・不動産会社双方のメリットをわかりやすく説明いただきました。

講演会を通じて、居住支援の現状について理解を深めるとともに、法人として保証人等として支援を行うことの意義・重要性について参加者とともに考えることができました。



高齢者住宅財団  
榎原 潤 氏



# 平成29年度法律ミニ講座

のご案内

総社市権利擁護センター「しえん」では、今年度も市民の皆様を対象に法律を気軽に学べる「法律ミニ講座」を開催しています！！講師は、権利擁護センターの小田弘昭弁護士です。具体的な事例を通して生活に身近な法律を学びましょう！！

第4回：平成29年 9月28日（木）14：00～15：30

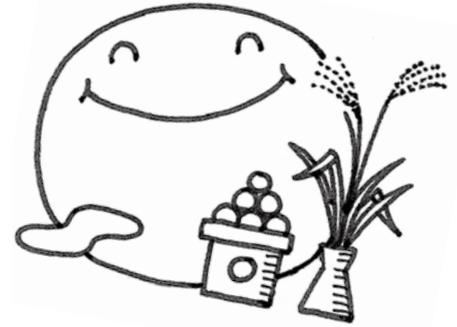
「こどもの法律問題 ～学校問題を中心に～」

第5回：平成29年10月26日（木）14：00～15：30

「近隣トラブル ～円満な解決のために～」

第6回：平成29年11月30日（木）14：00～15：30

「相続① ～遺言の書き方～」



会場は、総合福祉センター2階技能習得室です。

興味関心のあるテーマのみの参加、通年での参加の申し込みも随時受け付けておりますので、皆さまお誘いあわせの上、お気軽にご参加ください。

### ＜お申し込み・お問い合わせ＞

総社市権利擁護センター“しえん” 総社市中央1-1-3

TEL (0866) 92-8374 FAX (0866) 92-8284

## 連載

15回

## 「交通事故に 遭ってしまったら すべきこと」



総社市権利擁護センター  
“しえん”

弁護士 小田 弘昭

交通事故に遭ってしまったら、まずは負傷者がいないかを確認します。負傷者がいる場合は、すぐに救急車を呼び病院に行ってもらいましょう。そして、後続車等に対する道路上の危険を防止する措置を取り、警察へ事故を報告してください。

交通事故の当事者は、警察へ事故を報告する義務があります。警察への届け出を行わないと、後の保険金の請求手続等で必要になる交通事故証明書の交付が受けられないほか、実況見分なども行われず証拠も保全されません。また、軽いけがであっても負傷者がいる場合には、原則として人身事故として届け出るべきです。なお、事故の当事者において、現場の状況や相手方の発言等について、写真やメモ等を作成し証拠を残しておくことで後に過失割合等で争いになった場合に役立つことがあります。

現場での事故処理後は、ご自身の加入する保険会社又は代理店にも連絡をしましょう。過失割合に争いがある場合、相手方が保険に入っていない場合などは、自身が加入する人身傷害補償保険や無保険車傷害保険により保険金の支払を受けることが必要となる場合もあります。

また、ご自身（又は家族）が加入する保険に弁護士費用特約が付帯していれば、相手方と示談交渉や損害賠償請求等をするための弁護士費用を保険から出してもらえる場合もありますので確認してください。弁護士費用特約があれば無料で法律相談も受けられますので、困ったことがあれば弁護士へ相談してみるとよいでしょう。

総社市障がい者  
千人雇用センター

日中活動事業所説明会 2017 を  
開催しました！！



事業所説明会



障がい福祉サービス利用説明会

平成29年6月10日(土)、総社市内にある日中活動系障がい福祉サービス事業所(生活介護、就労移行支援、就労継続支援A型・B型、施設入所、自立訓練)の説明会を開催しました。

会場内には、事業所種別紹介説明コーナーや手作り品販売コーナーを設置し、別会場でも、障がい福祉サービス利用についての説明会を同時開催しました。

実習先や進路先の情報を求めて支援学校の生徒やその保護者など約80名の方々に来場いただきました。

この説明会は、総社市地域自立支援協議会の日中活動事業所連絡会が主催しているもので、今年度で4回目になります。



障がい者千人雇用センター

来場者からは、「多くの事業所の方と話すことができ、とても参考になった」「毎年開催してほしい」などのご意見をいただきました。これらの意見は、来年度の参考にさせていただきます。

# ケアマネジャー・登録ヘルパー職員募集中



あなたの優しさと笑顔を必要としている多くの方が市内にいます。  
資格は持っているけれど働いたことがない、フルタイムは難しいけれど短時間なら働ける。  
以前に介護の仕事をしていただけけれどブランクがある、といった方も大歓迎です。



《お問い合わせ先》

総社市社会福祉協議会 在宅福祉係 TEL 92-8560

私たちと一緒に働いてみませんか！

住民主体  
THE 支え合い活動

## 「にこサポ事業」

### にこにこサポーター活動中！



にこにこサポート事業（通称、「にこサポ」）は、住民主体の訪問サービスとして、高齢者（要支援者など）の日常生活で、「ちょっと困っていること…」や「誰かと一緒ならできること…」など、『豊かな自立した生活』をお手伝いする活動として、「笑顔」でつながる支え合い活動をめざして頑張っています。

## にこサポの仲間を増やしたい！

特技や経験を活かして！生きがいつくり！



### 今年も、9月末(予定)から養成講座を開催します！

「にこにこサポーター」になるには、特別な資格は必要ありません。

- ①総社市介護予防・生活支援サポーター養成講座を受講していただきます。
- ②養成講座終了後、ご登録いただきます。

※市内、複数会場での開催を計画しています。後日、お知らせします。

ちょっと気になる方、ご関心のある方は、今すぐ！お声かけください！

**お問い合わせ** 総社市社会福祉協議会 地域福祉係 TEL 92-8552

## 総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会

### 「ふくしネットそうじゃ」が設立されました！

平成29年7月1日（土）総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会が設立されました。愛称は「ふくしネットそうじゃ」です。

市内に拠点のある社会福祉法人から結成された当協議会は、「地域における公益的な取り組み」を協働して実施する予定です。生活困窮者支援やひきこもり支援、子育て支援など、それぞれの社会福祉法人の専門性とネットワークを活かして事業に取り組みます。

また、同日に記念講演会として、川崎医療福祉大学 医療福祉学部医療福祉学科 講師の直島克樹先生

に「子どもの貧困の実態と解決に向けた展望 ～子どもの未来は私たちの未来～」というテーマでご講演いただきました。

法人職員や民生委員・児童委員、福祉委員、一般の方を含め約80名のご参加をいただき、有意義な講演会となりました。



※ご了承をいただいた方についてのみ、紙面上に寄付金額を掲載させていただいております。

種別	金額	寄付者	住所
香典返し	100,000円	角井 健二 亡祖父(寛)	槇谷

下記については、金額の多寡にかかわらずご希望により寄付金額は掲載しておりません。

寄付者	住所	寄付者	住所	寄付者	住所		
▽香典返し		山部 昭夫	亡叔母(緑)	新本 真壁	池上 久司	亡母(芳子)	秦 門田
川原 豪	亡祖母(英子)	高木千鶴子	亡夫(郁太(聖鶴))	山田	荒木 節子	亡夫(弘一)	総社二丁目
小原 進	亡父(輝夫)	東 茂	亡父(貢)	地頭片山	岡野 晴恵	亡夫(孝士)	清音古地
在岡 幸子	亡母(米子)	友野 陸良	亡父(義男)	金井戸	藤田 和江	亡夫(訓正)	新本
長江 和昭	亡母(百合子)	渡邊 衛	亡母(富子)	真壁	永田 浩久	亡父(彰)	美袋
新谷 英治	亡妻(純子)	三尾 彰徳	亡父(英一)	久代	井田 清子	亡夫(克己)	西坂台
小林 薫	亡夫(一彦)	堀 楷一	亡姉(静子)	上林	横田 悦子	亡夫(定)	美袋
西山 弘満	亡母(八重子)	福井 進	亡父(長一)	三輪	樋口 弘	亡妻(マツエ)	中央五丁目
宮田 昇	亡母(知恵子)	隅田 寿司	亡父(司郎)	下原	関 経典	亡父(前)	
木山 佳子	亡母(原田幸子)	明石 康宏	亡母(鼎)	総社二丁目	▽篤志寄付		宿
加藤 信二	亡妻(良枝)	大林 良人	亡父(喜一)	西郡	グループホーム吉備路		
西山 竜一	亡父(節男)	假谷 琢磨	亡母(紀榮)				

(平成29年4月21日～平成29年7月20日まで 敬称略)

# 赤い羽根共同募金運動

～みんなに支えられ、  
長い歴史の灯をともし続ける～

運動期間：10月1日～  
12月31日

## ■総社市での募金額と使いみち

- 平成28年度に集まった一般募金額 9,790,243円  
総社市へ配分された一般募金の使いみち
  - ★市社会福祉協議会地域福祉活動 1,137,888円
  - ★ポスターコンクール、ハートフルそうじゃ 400,000円
  - ★地区社会福祉協議会へ助成 3,802,112円
  - ★福祉のまちづくり事業 900,000円
- 平成28年度に集まった歳末たすけあい募金 253,814円  
平成28年度に集まった募金額使いみち
  - ★地区社会福祉協議会へ助成(1地区) 119,535円
  - ★在宅寝たきり者友愛訪問(74人) 134,279円
- 市内福祉施設へも配分されます
  - ★あのね保育園(施設整備) 840,000円



平成28年度  
赤い羽根共同募金  
ポスター作品コンクール  
最優秀賞作品  
総社中央小学校  
4年 樋口詩歩さん

今年も、全国一斉に10月1日から赤い羽根共同募金運動がスタートします。

運動期間の始まりには、市内のJR駅、量販店で福祉関係団体等の方々による街頭募金活動を予定しています。

また、市内の各戸への戸別募金、学校募金、企業や商店へ協力店募金等、募金活動を地区の役員の方々のご協力で行っております。運動期間中、どうぞご協力をお願いいたします。

## 事務局長



# Topics

## 子どもの貧困7人に1人

「毎日、朝食を食べずに登校する小学生」、「給食がないので、夏休み明けに、10キロも痩せてくる中学生」、「むし歯を治療できず、歯科医院に通院したときは手遅れで、中学生で総入れ歯にせざるを得なかった子ども」、「衣服を買ってもらえず、冬場でも寒そうなお洋服を着てこない子ども」、「朝6時から夕方までアルバイトをして、定時制高校に通っている高校生」(川崎医療福祉大学講師 直島克樹氏の講演より)。こんな子どもたちが増えています。

今、貧困世帯で暮らす18歳未満の子どもの割合が7人に1人になっている報告が出されました(2016年厚生労働省の国民生活基礎調査より)。その実態は非常に見えにくく、地域からはなかなか課題が上がってきません。今こそ、子どもたちの小さな声なき声を受け止めて、未来づくりのための支援策が差し迫った課題です。総社市では、学習支援・居場所作りの取り組みが始まっています。

# ひきこもりサポーター養成講座を開催します！

ひきこもりは本人や家族だけの課題ではなく、**社会全体の課題**です。  
ひきこもりに対する理解を深め、ひきこもりの方やそのご家族の支え手として居場所づくり等、自分たちにできることを一緒に考えてみませんか。

平成29年 <b>10月12日(木)</b> 14:00～16:00	<b>「総社市でのひきこもり支援の取り組み」</b> 講師 岡山県立大学 保健福祉学部保健福祉学科 講師 周防 美智子 氏 報告 岡山県備中保健所、総社市教育委員会、社会福祉協議会
<b>11月9日(木)</b> 10:00～12:00	<b>ひきこもりの理解と支援①</b> <b>「ひきこもりについて知ろう(仮)」</b> 講師 岡山高等学院 副校長 水野 文一郎 氏
<b>12月14日(木)</b> 10:00～12:00	<b>ひきこもりの理解と支援②</b> <b>「多角的な視点からひきこもりを考えよう(仮)」</b> 講師 岡山大学大学院 教育学研究科 教授 塚本 千秋 氏(精神科医)
平成30年 <b>1月19日(金)</b> 10:00～12:00	<b>ひきこもりの理解と支援③</b> <b>「居場所支援について考えよう(仮)」</b> 講師 NPO法人あかね 代表理事 中山 遼 氏
<b>2月23日(金)</b> 14:00～16:00	<b>「自分たちができることを考えてみよう」</b> コーディネーター 岡山県立大学 保健福祉学部保健福祉学科 講師 周防 美智子 氏 活動報告 ひきこもりサポーター

社協だより  
vol.51  
9  
2017  
Chi-ki Fukushi  
Soja City  
Council of  
Social welfare

- 参加対象 講座終了後にひきこもりサポーターとして登録し、総社市で継続的に活動できる方
- 募集定員 40人(参加費は無料)
- 申込方法 **10月9日(月)までにお電話、FAX等でお申込みください**  
※氏名・所属・住所・電話番号・受講動機をお知らせください。
- 会場 総社市総合福祉センター(総社市中央一丁目1番3号)
- 申込先 **ひきこもり支援センター“ワンタッチ”**  
☎(0866)92-8597 FAX(0866)94-0089
- 主催 総社市ひきこもり支援等検討委員会/総社市/総社市社会福祉協議会

6ページに掲載の  
居場所カフェは、  
サポーターの皆で  
開催しました！



## 総社市社会福祉協議会の 会員を募集しています!!

社会福祉協議会では、住民のみなさまが主人公となって地域福祉の推進をめざす福祉団体です。そのため、事業費の大きな財源として住民のみなさまに社協会員になっていただき、会費のお願いをしています。(会費は全て年額であり、入会は任意です)



- 普通会費 1,000円
- 賛助会費 2,000円
- 特別会費 5,000円

## 社協職員募集

社会福祉協議会では、総社市の地域福祉推進をめざして、一緒に働く職員を募集しています。  
随時募集を行っていますので、みなさまの申し込みをお待ちしています。  
**詳しくは、ホームページをご覧ください。**

- ☆資格要件  
社会福祉士、精神保健福祉士、作業療法士、保健師、臨床心理士、介護支援専門員

編集発行/社会福祉法人 総社市社会福祉協議会  
〒791-0231 岡山県総社市中央一丁目1番3号 総社市総合福祉センター内  
TEL:0866-92-8597 FAX:0866-94-0089  
Eメール:info@sojasyakyo.or.jp  
http://www.sojasyakyo.or.jp